

Graphics & Architectural Markets Division Instruction Bulletin

改訂 2019年02月01日

発行 1999年03月01日

スリーエムジャパン株式会社

グラフィックス&アーキテクチュラルマーケット事業部

3M™ スコッチカル™ フィルム景観条例対応ラミネートフィルム貼り施工方法

1. 定義

この Instruction Bulletin は本貼り施工マニュアルは、スコッチカル™ フィルム景観条例対応フィルム TL5015XL 及び TL5016XL の貼り施工方法を説明したものです。

2. 貼り施工方法

- 3M™ スコッチカル™ フィルム景観条例対応フィルムは3M™ スコッチカル™ フィルムXLシリーズ及びJシリーズ不透過タイプおよび透過タイプの彩度の高いものに対し、そのフィルム表面にオーバーラミネートし彩度を落とし、景観条例に適應させるために使用するものです。
- 3M™ スコッチカル™ フィルム景観条例対応フィルムは従来の3M™ スコッチカル™ フィルム透明カラーフィルムXLシリーズ透過タイプ (TP&TL タイプ) と同等の特性を有した製品ですので、水貼りおよび素貼りが可能です。基本的な貼り施工方法はTP&TLタイプの施工方法に従って下さい。
- ここでは、基本的な施工上注意を中心として記します。

2-1. 3M™ スコッチカル™ フィルムXLシリーズ及びJシリーズ不透過タイプにラミネートする場合

2-1-1. 下地が金属板やプラスチック板のような堅く平滑な下地の場合

A) ベタ貼り

方法1：下地にベースフィルムを貼り、その上に当該フィルムを貼ってください。

方法2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしておき、それを下地に貼ってください。

B) 切り文字の場合

方法1：ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に少し大きめに作成した当該フィルムの切り文字を貼り、ベース部分からはみ出た部分をカットしてください。

方法2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

C) 抜き文字の場合

方法1：ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に当該フィルムをベタ貼りして、抜き文字部分をカットして除去してください。

方法2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

2-1-2. 下地が3M™ パナグラフィックス™ フレキシブル サブストレートのようなFFシート
(フレキシブルシート) の場合

A) ベタ貼り

方法1: 下地にベースフィルムを貼り、その上に当該フィルムを貼ってください。

方法2: ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしておき、それを下地に貼ってください。

B) 切り文字の場合

方法1: ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に少し大きめに作成した当該フィルムの切り文字を貼り、ベース部分からはみ出た部分をカットし、除去してください。フィルムをカットする際には、下地までカッター刃が入らないように十分注意してください。

方法2: ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

C) 抜き文字の場合

方法1: ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に当該フィルムをベタ貼りして、抜き文字部分をカットして除去してください。フィルムをカットする際には、下地までカッター刃が入らないように十分注意してください。

方法2: ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

*注意: ベースフィルムのフィルム厚が通常の仕様(0.08mm)よりも厚い場合(0.11mm以上)、には経時で端部がカールする場合がありますので、ベースフィルムより5~10mm程度、当該フィルムを大きくしたものを貼ってください。該当フィルムにつきましては当社担当営業部員にお問い合わせください。

2-2. 3M™ スコッチカル™ フィルムXLシリーズ及びJシリーズ透過タイプにラミネートする場合

2-2-1. 下地がプラスチック板のような堅く平滑な下地の場合

A) ベタ貼り

方法1: 下地にベースフィルムを貼り、その上に当該フィルムを貼ってください。

方法2: ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしておき、それを下地に貼ってください。

B) 切り文字の場合

方法1: ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に少し大きめに作成した当該フィルムの切り文字を貼り、ベース部分からはみ出た部分をカットしてください。

方法2: ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

C) 抜き文字の場合

方法1: ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に当該フィルムをベタ貼りして、抜き

文字部分をカットして除去してください。

方法 2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

2-2-2. 下地が 3M™ パナグラフィックス™ フレキシブル サブストレートのような FF シート (フレキシブルシート) の場合

A) ベタ貼り

方法 1：下地にベースフィルムを貼り、その上に当該フィルムを貼ってください。

方法 2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしておき、それを下地に貼ってください。

B) 切り文字の場合

方法 1：ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に少し大きめに作成した当該フィルムの切り文字を貼り、ベース部分からはみ出た部分をカットし、除去してください。フィルムをカットする際には、下地までカッター刃が入らないように十分注意してください。

方法 2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

C) 抜き文字の場合

方法 1：ベースフィルムの切り文字を下地に貼り、その上に当該フィルムをベタ貼りして、抜き文字部分をカットして除去してください。フィルムをカットする際には、下地までカッター刃が入らないように十分注意してください。

方法 2：ベースフィルムにあらかじめ当該フィルムをラミネートしたもので切り文字を作成し、それを下地に貼ってください。

*注意事項：

ベースフィルムのフィルム厚が通常の仕様 (0.08mm) よりも厚い場合 (0.11mm 以上)、には経時で端部がカールする場合がありますので、ベースフィルムより 5~10mm 程度、当該フィルムを大きくしたものを貼ってください。該当フィルムにつきましては当社担当営業部員にお問い合わせください。

2-3. フィルムのつなぎ目の処理

つなぎ目の処理については、図のように 4 つの方法があります。用途および外観状況を確認してご選択ください。貼り施工方法とフィルムつなぎ目処理の対応表もご参照ください。

I. ベースフィルムのつなぎ目にラミネートフィルムのつなぎ目を合わす方法

1-1 上から、ラミネートフィルム/ラミネートフィルム/ベースフィルム/ベースフィルム (図 I-1)

1-2 上から、ラミネートフィルム/ベースフィルム/ラミネートフィルム/ベースフィルム (図 I-2)

II. ベースフィルムのつなぎ目とラミネートフィルムのつなぎ目をずらす方法 (図 II)

III. ベースフィルムおよびラミネートフィルムを突き合わせにする方法 (図 III)



[表]

つなぎ目処理	2-1:不透過タイプ												2-2:透過タイプ											
	2-1-1:堅い基材						2-2-2:FF基材						2-2-1:堅い基材						2-2-2:FF基材					
	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
I-1	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	×	-	×	-	×	-
I-2	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	×	-	×	-	×
II	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
III	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-

※注意事項

1. フィルムをつなぐ場合の重ね幅は（IおよびIIの場合）、必ず5~10mm程度あるいはそれ以上取るようにしてください。
2. 突き合わせで貼る場合も（IIIの場合）、フィルムは1mm程度の重ね幅は必要です。

3. 備考

- 廃材は産業廃棄物として処理してください。

4. 注意事項

- この使用説明書の著作権は弊社に属します。よって、無断複製、引用等を禁じます。
- 各条例への適合については施工者にてご確認ください。

本仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告は全て弊社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任を全て負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書に依らない限り弊社は責任を負いません。

3M、スコッチカルは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
グラフィックス&アーキテクチュラルマーケット事業部
<http://www.mmm.co.jp/cg>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 0570-012-123
8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます